

2023 年度  
グリーン購入ネットワーク  
事業報告

2024 年 5 月

グリーン購入ネットワーク (GPN)

## 目次

|  |    |
|--|----|
| 1. 持続可能な購入やグリーン購入を知る・学ぶ機会 .....                        | 2  |
| (1) GPN セミナー/意見交換会/説明会.....                            | 2  |
| (2) GPN News、GPN コラム .....                             | 3  |
| (4) 地方自治体向けグリーン購入・環境配慮契約研修会 .....                      | 4  |
| 2. 持続可能な購入やグリーン購入の実践・PR の機会 .....                      | 6  |
| (1) 持続可能な調達アクションプログラム .....                            | 6  |
| (2) グリーン購入大賞 .....                                     | 6  |
| (3) グリーン購入取り組み支援プラン .....                              | 8  |
| (4) 再エネ電力の普及促進 .....                                   | 8  |
| (5) 「持続可能な発展を目指したサステナビリティ・ワークブック —企業編— (仮)」の制作検討 ..... | 8  |
| (6) 東海三県一市グリーン購入キャンペーンへの協力.....                        | 9  |
| 3. 環境と社会に配慮した製品・サービスの情報の提供.....                        | 9  |
| (1) グリーン購入ガイドラインの策定・改定.....                            | 9  |
| (2) 環境配慮型製品・サービスの情報提供の充実.....                          | 10 |
| (3) サステナブル商品・サービス情報の提供.....                            | 11 |
| (4) 環境配慮設計された食品容器包装の情報提供.....                          | 11 |
| 4. 社会等への情報発信 .....                                     | 11 |
| (1) グリーン購入ランキング .....                                  | 11 |
| (2) 政策提言 .....   | 12 |
| (3) ホームページを通じた情報提供 .....                               | 12 |
| (4) シンボルマークの活用を通じた会員団体の取り組みの発信.....                    | 13 |
| 5. その他の活動.....   | 14 |
| (1) 外部委員会への参画 .....                                    | 14 |
| (2) 理事会・委員会等の開催 .....                                  | 15 |

※GPN ホームページに詳細を掲載している事業は、ホームページへのハイパーリンクを設定している。

# 1. 持続可能な購入やグリーン購入を知る・学ぶ機会

## (1) GPN セミナー/意見交換会/説明会

持続可能な調達（消費と生産）に関連する様々なサステナビリティの最新動向に焦点をあて、注目度の高いキーワードや社会的課題、業界動向の解説を行う GPN セミナー（オンライン）を開催した。

2024 年度は共催企画を含め 19 のテーマでセミナーを開催し、延べ約 3,400 名が参加した。また、サステナビリティ評価をテーマに GPN 会員限定の意見交換会、エコ商品ねっと等の事業紹介を目的とした GPN 説明会を実施した。

★印のあるセミナーは、連携団体を通じて広く広報を行い、ネットワークの拡大に努めた。

### ■ GPN セミナー（共催を含む）

| 時期   | テーマ  |
|------|--|
| 4 月  | グリーン購入法解説（令和 5 年度基本方針改定）<br>－脱炭素に向けて動き出した CFP の役割、及び、再生紙の供給問題による総合評価値の見直し－         |
| 4 月  | サプライチェーン全体での CFP の算定・検証の在り方 －CFP レポート&CFP ガイドラインの解説－                               |
| 5 月  | 脱炭素社会に向けて地球温暖化をイチから学ぶ －いまさら聞けない環境配慮事項－ <sup>1</sup>                                |
| 5 月  | ライフサイクルアセスメントとカーボンフットプリント －自社製品の環境配慮を進めるための基礎セミナー－ <sup>2</sup>                    |
| 6 月  | 環境基本計画・温暖化対策実行計画の策定ポイントの解説 －脱炭素と資源循環の推進－ <sup>3</sup>                              |
| 6 月  | 『みどりの食料システム戦略』から考える持続可能な農林水産業の在り方<br>－消費者の選択に資する環境負荷低減の「見える化」の取り組み－                |
| 7 月  | サプライチェーン全体での人権配慮の重要性 －人権 DD の概要と企業が抱える課題－ <sup>4</sup>                             |
| 7 月  | 資源循環の促進に向けたプラットフォームの利活用 －地域・企業等との協働－ <sup>5</sup>                                  |
| 8 月  | 環境ラベル タイプ II ラベルの課題と未来 －自己宣言型の情報開示の可能性－ <sup>6</sup>                               |
| 8 月  | EcoVadis のサステナビリティ評価① －サプライヤーを評価する－★   |
| 9 月  | EcoVadis のサステナビリティ評価② －自社が評価を受ける－★   |
| 9 月  | 企業価値向上に向けたサステナビリティ情報の開示<br>－サステナビリティ関連データの効率的収集と戦略的活用に関する WG・中間整理の解説－ <sup>7</sup> |
| 9 月  | 海外ラベルとの相互認証とサステナビリティ情報の発信<br>－エコマーク（日本）とブルーエンジェル（ドイツ）－★                            |
| 10 月 | ESG 投資及びサステナビリティ情報の開示の動向 <sup>8</sup>  |
| 11 月 | 【会員限定】緊急開催 グリーン購入法基本方針の改定案の解説  |
| 2 月  | 【自治体限定】グリーン購入法適合品の探し方<br>－グリーン購入調達方針の判断基準を満たした商品情報の収集方法－                           |

1 共催：一般社団法人日本 LCA 推進機構（LCAF）

2 共催：一般社団法人日本 LCA 推進機構（LCAF）

3 共催：環境自治体会議環境政策研究所

4 共催：認定 NPO 法人フェアトレード・ラベル・ジャパン（FLJ）

5 共催：公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会（NACS）環境委員会

6 共催：日本 LCA 学会企画委員会が主催、グリーン購入ネットワーク（GPN）、LCA 日本フォーラム

7 後援：一般社団法人サステナビリティ情報審査協会（J-SUS）

8 主催：一般社団法人サステナビリティ情報審査協会（J-SUS）、共催：一般社団法人日本 LCA 推進機構、グリーン購入ネットワーク（GPN）

|    |   |
|----|---|
| 3月 | 食品容器包装における環境配慮の未来を探る<br>ープラスチック資源循環促進法施行で容器包装の環境配慮は変わったのかー        |
| 3月 | 講演会 サプライヤーエンゲージメントから考える中小企業との協働<br>ーサプライヤーエンゲージメントから考える中小企業との協働ー★ |
| 3月 | 100%リサイクル製品から考える資源循環の未来と課題 ー地域連携型の容器回収の仕組みー <sup>9</sup>          |

#### ■意見交換会

|    |  |
|----|--|
| 2月 | サステナビリティ評価から自社の取り組みを見つめなおす<br>～EcoVadis を活用した改善に向けた一歩～ |
|----|--|

#### ■説明会

|     |                               |
|-----|-------------------------------|
| 5月  | 説明会 “エコ商品ねっと” の活用方法           |
| 6月  | 説明会 第24回グリーン購入大賞 応募用紙の書き方     |
| 11月 | 説明会 環境配慮設計された容器包装食品データベース登録方法 |

## (2) GPN News、GPN コラム

### ○[ニュースレター](#)

2023年度は、GPN会報「GPN News」を年4回発行した。

2023年度は、「持続可能な社会の共創に向けて」や「持続可能な社会に向けたパートナーシップの推進」といったSDGsに関するテーマや、ISO14068-1:2023 カーボンニュートラリティの発行、グリーンプリンティング、フェアトレード市場、GX 推進法・推進戦略、ネイチャーポジティブ経済への移行等に着目した最新動向や、グリーン購入法と環境配慮契約法の解説、グリーン購入大賞の報告、GPN 事業計画・財務諸表（要約）・予算書等を掲載した。

毎号約2,000部を発行し、全国の会員および関係者、マスコミ等に配布した。また、会員団体が閲覧し、組織内で情報を共有できるよう、会員専用ページにPDFファイルを掲載した。

### ▼2023年度の主な記事

- ・ 持続可能な社会の共創に向けて ～法政大学デザイン工学部建築学科教授（GPNアドバイザー）川久保 俊氏に聞く～

#### 【寄稿】

- ・ グリーンプリンティングの現在と未来～GP認定による印刷の総合的環境配慮～（一般社団法人日本印刷産業連合会 GP推進部 宮田 博文氏）
- ・ 拡大を続けるフェアトレード市場～フェアトレード・ラベル・ジャパン設立30年の軌跡と未来に向けて～（特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン シニアディレクター/GPN理事 中島 佳織氏）

<sup>9</sup> 共催：公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会（NACS）環境委員会

- ・ 物流の 2024 年問題～「モノが運べなくなる」前に求められる対応～（一般社団法人東京都トラック協会 参与 遠藤 啓二氏）
- ・ ISO14068-1:2023 カーボンニュートラル性の発行（一般社団法人日本 LCA 推進機構 理事長、GPN アドバイザー 稲葉 敦氏）
- ・ GX 推進法・推進戦略で描く脱炭素成長型経済構造への青写真（経済産業省 産業技術環境局 環境政策課 環境経済室 課長補佐 太田 優人氏）
- ・ ネイチャーポジティブ経済への移行と持続可能な調達に期待される役割（環境省 自然環境局 自然環境計画課 生物多様性主流化室 室長補佐 遠矢 駿一郎氏）



#### 【対談】

- ・ 持続可能な社会に向けたパートナーシップの推進 ～グリーン購入大賞受賞団体 川崎キングスカイフロント東急REIホテルと 小川珈琲株式会社の協働による取り組み～（東急ホテルズ&リゾーツ株式会社 武井 隆氏・小川珈琲株式会社 小川雄次氏）

## ○GPN コラム



GPN コラムは、会員限定のコンテンツとして、持続可能な消費と生産をめぐる最新動向について、注目度の高いキーワードや社会的課題の解説、製品・サービスの生産・提供や持続可能な調達・グリーン購入を進めるうえで重要となる考え方などを有識者の方々に執筆いただいている。

これまで 27 テーマでコラムを公開しており、GPN ウェブサイト「会員専用ページ」に掲載している。

### （3）地方自治体向けグリーン購入・環境配慮契約研修会

地方自治体では、異動等により定期的に担当者が交代となるため、グリーン購入や環境配慮契約の更なる普及促進を目的に、地方自治体や国等の機関の新任担当者や実務担当者を対象とした研修会を毎年開催している。

#### ①自治体職員向けグリーン購入研修会（基礎編）

5月11日に「自治体職員向けグリーン購入研修会」をオンラインにて開催した。

今回の研修会では、地方自治体のグリーン購入に取り組む意義やグリーン購入法において自治体に求められる取り組みを整理し、特定調達品目と判断基準の解説を行った。地方自治体がグリーン購入を推進するためには、「調達方針の策定」が重要であることから、方針の策定手順、運用方法、職員啓発について解説した。さらに、取り組み事例を「もったいない EMS」という取り組みの中で一体感のある取り組みの宇都宮市の事例、そして独自重点品目を定め、環境ラベルを活用した調達ガイドラインを定めている春日部市からガイドラインの紹介をメインに事例発表を行った。

参加者からは、「実際に、どのように庁内に周知を行い取り組んでいるのかのイメージがわき、意識が

高まった。」「文字だけでなく、環境ラベルを活用した分かりやすいガイドライン等の作成について、とても参考になった。」「グリーン購入法適合という表示と、環境ラベル（エコマーク等）の違いの理解があいまいだったため、勉強になった。」等の感想が聞かれた。

#### ■開催概要

日時：5月11日（木）14:00～16:30

主催：グリーン購入ネットワーク（GPN）、  
地域ネットワーク（北海道、みやぎ、埼玉、横浜、大阪、九州）

対象：地方自治体及び国・独立行政法人等（環境部門、会計・総務部門等）の担当者

費用：無料

参加人数：182団体、245人

#### ■プログラム

- ・GPNの紹介
- ・グリーン購入の必要性和意義
- ・グリーン購入法の基準
- ・グリーン購入取組事例（宇都宮市、春日部市）
- ・組織的に取り組むポイント
- ・質疑応答

#### ②自治体職員向け環境配慮契約（電力）研修会

7月6日に「自治体職員向け環境配慮契約（電力）研修会」をオンラインにて開催した。環境配慮契約（電力）の取り組みは、パリ協定における温室効果ガス削減目標（2030年46%削減）や2050年のカーボンニュートラルを達成するために重要な位置づけと言える。一方、急激な電力価格の高騰が続き、安定的な電力や再エネ電力の確保の観点から、今後の電力契約への不安が広がっている。こういった背景の中、当日は環境部門だけではなく、契約や財務部門など複数の部門から200団体、300名を越す参加があった。

研修会では、はじめにGPN事務局長の深津より、世界で頻発しグローバルリスクとなっている「異常気象」と、その対策として温室効果ガス排出量ゼロへ向けた再エネ電力の取り組みが重要課題になっていること、その中での「電力の環境配慮契約」の位置づけと、取り組みのポイントについて解説した。続いて、神奈川県から、2030年に全県有施設の100%再エネ電力化に向けたロードマップの説明と、調達への「リバースオークション」の活用の紹介があった。電力小売事業者である（株）UPDATERから、電力の価格高騰の背景や今後の見通しや再エネ電力の供給と契約形態についてご講演した。質疑応答では、再エネ電力への取り組みが拡大し、環境配慮契約や再エネ電力契約を継続的に実施するための要件や、価格変動の見通し、オンサイト・オフサイトPPA等の取り組み方など、多くの質問があった。

#### ■開催概要

日時：7月6日（木）14:00～16:30

主催：グリーン購入ネットワーク（GPN）

対象：地方自治体及び国・独立行政法人等（環境部門、会計・総務部門等）の担当者

参加人数：204団体、302人

参加費：無料

■プログラム：

- ①GPN から環境配慮契約の意味・意義と取り組みのポイント（GPN）
- ②環境配慮契約（電力）・再エネ電力の取り組み状況（神奈川県）
- ②電力価格の見通しと再エネ電力調達（(株)UPDATER）
- ③質疑応答

## 2. 持続可能な購入やグリーン購入の実践・PR の機会

### (1) 持続可能な調達アクションプログラム

#### 【評価チェックリスト】

「持続可能な調達アクションプログラム」は、事業者自らが、持続可能な調達に対応した事業者であることをセルフチェックするプログラムで、2018 年度より運用している。これまでの5年間に 272 団体が回答した。回答した団体にはフィードバックレポートを返送しており、自社の取り組みの強みや改善ポイントを把握する仕組みとして GPN 会員に活用いただいている。

2023 年度は、評価チェックリストを作成し5年が経過したため、改定に向けた検討を行った。改訂版は 2024 年度に公開を予定している。

#### 【サプライヤー調査等】

2023 年度は、組織としての持続可能な調達の推進に向けた方針に基づいたサプライヤー調査を 1 件受託した。調査の実施にあたっては、持続可能な調達アクションプログラムを参考とした。また、2022 年度に引き続き、一般社団法人日本印刷産業機械工業会からの委託を受け、「持続可能な調達アクションプログラム 評価チェックリスト」を活用し、会員企業各社の取り組み状況の評価を実施した。

◇サプライヤー調査・・・大塚商会株式会社

◇業界団体の活用・・・一般社団法人日本印刷産業機械工業会

### (2) グリーン購入大賞

グリーン購入大賞は、環境に配慮した製品やサービスを環境負荷低減に努める事業者から優先的に購入する「グリーン購入」の普及・拡大に取り組む団体を表彰する制度として、1998 年に創設した。

SDGs（持続可能な開発目標）の目標の 1 つである目標 12「持続可能な消費と生産のパターンを確保する」をふまえ、第 19 回（2018 年度）以降、グリーン購入から持続可能な調達に審査、表彰する領域を広げている。従来グリーン市場の拡大に貢献した取り組みに加えて、持続可能な調達（消費と生産）を通じて SDGs の目標達成に寄与する取り組みも募集し、審査・表彰を行っている。

2023 年度の特別部門は、「農林水産特別部門」を設けた。「農林水産特別部門」では、調達（消費と生産）を通じた、持続可能な農林水産業の実現に向けた取り組み（農林水産物・食品の調達から生産、加工・流通、消費、廃棄（リサイクル）におけるサプライチェーン全体での取り組み、食品廃棄物の削減・再資源化の取り組み等）を広く募集し、表彰いたします。募集し、審査・表彰した。

■メディア掲載

紙面 20 紙を含む、140 媒体以上にて、審査結果・受賞団体の取り組みが紹介された。

■表彰式

日時：12月12日（火）10：00～11：30

会場：コングレスクエア日本橋

内容：大賞・大臣賞（環境大臣賞、経済産業大臣賞、農林水産大臣賞）、大賞、優秀賞の各賞授与、  
来賓挨拶（環境省、経済産業省、農林水産省）、大臣賞受賞団体による受賞記念スピーチ

■第24回受賞団体一覧

| 賞              | 受賞団体（応募部門）                   | タイトル   |
|----------------|------------------------------|--|
| 大賞・<br>環境大臣賞   | 日本生活協同組合連合会<br>（行政・民間団体部門）   | コープ商品「責任ある調達基本方針」に基づく原材料<br>調達とステークホルダーとのコミュニケーション                                     |
| 大賞・<br>経済産業大臣賞 | セイコーエプソン株式会社<br>（大企業部門）      | 公平公正・共存共栄を基本に、サプライヤーと相互信<br>頼関係を築き、ともに発展していくことを目指したCSR<br>調達の取り組み                      |
| 大賞・<br>農林水産大臣賞 | 株式会社杉本商店<br>（農林水産特別部門）       | 地域とともに『ここでしか作れない』を世界へ  |
| 大賞             | 国立大学法人 三重大学<br>（行政・民間団体部門）   | 地域環境 X (Local and Environmental Transformation) を担う<br>科学的な地域環境人材 (SciLets) の共創育成プログラム |
| 大賞             | 株式会社秋川牧園<br>（農林水産特別部門）       | 畜産業を中心としたサステナブルな農業～消費者とと<br>もにつくる安心・安全な食づくり  |
| 大賞             | イオントップバリュ株式会社<br>（農林水産特別部門）  | 我々に食べるものを与えてくれる動物の飼育環境にま<br>で配慮し、動物が快適で自由に生きることができる飼<br>育環境を広げていくためにイオンができること。         |
| 大賞             | 山梨県<br>（農林水産特別部門）            | やまなしアニマルウェルフェア認証制度～高付加価値<br>化や小回りの効く持続可能な畜産を目指して～                                      |
| 優秀賞            | スーパーバッグ株式会社<br>（大企業部門）       | 廃棄ストレッチフィルムを使用した資源循環型製品<br>「とってもエコなゴミ袋」の開発   |
| 優秀賞            | 大東建託株式会社<br>（大企業部門）          | サプライチェーン評価システム「EcoVadis」を利用し<br>た サステナビリティ強化の取り組み                                      |
| 優秀賞            | 株式会社エルコム<br>（中小企業部門）         | プラごみの2つの発生元で未来の海をまもるクリーン<br>オーシャンプロジェクト  |
| 優秀賞            | サステナブル・ストーリー株式会社<br>（中小企業部門） | 若者が参加しやすい経済循環のカタチ「フェアトレ<br>ードコイン」  |
| 優秀賞            | 株式会社折兼<br>（農林水産特別部門）         | バガスシリーズ製品開発と素材特徴を生かした異業種<br>との環境にやさしい取り組みの実施について                                       |
| 優秀賞            | 株式会社モスフードサービス<br>（農林水産特別部門）  | 創業当時から理念体系「モスの心」を指針とした、<br>モスバーガーチェーンの環境活動   |



第 24 回グリーン購入大賞 表彰式（集合写真）

### （3）[グリーン購入取り組み支援プラン](#)

地方自治体から、職員向け研修や調達方針の見直し等に関する問い合わせや支援希望が多いことから、職員研修と方針策定・見直しの2つの支援プランを通して個別団体の取り組みを支援している。

2023年度は、9月に箕輪町（長野県）で「箕輪町グリーン購入方針説明会 兼 研修会」を実施した。ゼロカーボンシティを宣言している箕輪町は、温室効果ガスや廃棄物を削減するために全庁的なプロジェクトチームを立ち上げて活動を進めており、その一環として、グリーン購入基本方針を作成した。

### （4）再エネ電力の普及促進

#### ①再エネ 100 宣言 RE Action の運営

GPN は、イクレイ日本（ICLEI）、一般社団法人地球温暖化防止全国ネット（JNCCA）、公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）、日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）とともに、再エネ 100%利用を目指す枠組みとして「[再エネ 100 宣言 RE Action（アールイーアクション）](#)」を 2019 年に設立し、事務局運営を行うとともに、国内の中小企業や地方自治体、大学等に参加を呼び掛けている。

2023年度は、電力価格高騰や新電力事業者の業務縮小・撤退等、再エネ電力の普及への逆風が続き、前年度から 49 団体増加し、2023年3月末時点の参加団体は 355 団体となった。

GPN は 2022 年度に続き、経理業務を含む RE Action 事務局業務の進捗管理を行うこととした。また、再エネ 100 宣言 RE Action は 2024 年 3 月に法人化し、「一般社団法人再エネ 100 宣言 RE Action 協議会」となり、GPN は引き続き理事として参画することとした。

#### ②GPN 脱炭素経営・再エネ 100 ソリューションサイトの開設・運営

再エネ 100 に資するソリューションの紹介することを目的として、「[GPN 脱炭素経営・再エネ 100 ソリューションサイト](#)」を 2023 年 11 月に開設した。

脱炭素経営を進める企業・組織に対して、「電力使用を減らす、再エネ電気を創る、再エネを購入する」という 3 つの切り口から、省エネ関連設備や再エネ自家発電設備、再エネ小売電力や蓄電池等の脱炭素経営を進めることに役立つソリューションを紹介しており、6 社 7 件を掲載している。



### （5）「持続可能な発展を目指したサステナビリティ・ワークブック —企業編—（仮）」の制作検討

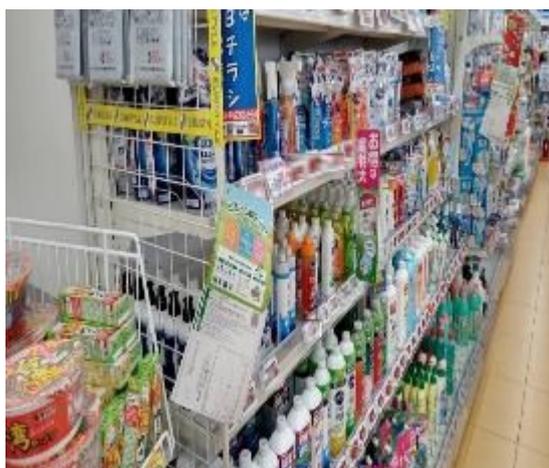
2015 年に SDGs が採択されて以降、さまざまな企業・団体で SDGs の取り組みが進んできている。

SDGs 未来都市に選定された地方自治体では、地域の事業者にも SDGs の取り組みを促すために、SDGs 宣言や登録制度を設ける例や、SDGs の取り組みを認定する例も見られる。SDGs に取り組む企業においても、SDGs の社内浸透に腐心する企業も多くある一方、自社のマテリアリティを特定し、積極的に情報開示に取り組む企業もあり、自社の SDGs の取り組みを評価してほしいというニーズも聞かれる。そのような SDGs に関連する動向やニーズから、SDGs 関連検討委員会では、既存の宣言や登録制度、評価制度等の仕組みを整理し、「持続可能な発展を目指したサステナビリティ・ワークブック ー企業編 ー (仮)」と題して、主に中小企業向けに、これから SDGs やサステナビリティの取り組みに着手する際に参考となるワークブックの制作の検討を行った。2024 年度も検討を継続し、制作を進める。

#### (6) 東海三県一市グリーン購入キャンペーンへの協力

グリーン購入の普及と定着を図り、身近な消費行動を通して持続可能な社会の構築に寄与することを目的に、東海三県一市の広域連携により行政・団体・事業者が協働して消費者に対する啓発キャンペーンを実施した。キャンペーンは 2002 年度から実施しており、GPN は実行委員として参画している。

21 回目となる 2023 年度は、1 月 9 日～2 月 8 日の 1 ヶ月間、4,319 の店舗がキャンペーンに参加し、詰替商品や環境ラベル商品、地産地消・季産季消等を対象商品とし、コーナー設置や POP 掲示等、消費者に対してグリーン購入の普及・啓発を行った。グリーン購入の対象となる商品



(環境ラベル付き商品、環境配慮商品、地元・旬のもの(東海三県産))を購入した方の中から抽選で環境配慮商品をプレゼントする懸賞応募も実施し、2,947 名からの応募があった。キャンペーン参加者が回答したアンケートでは、回答者の 62%がグリーン購入を「知っていた」と回答し、普段の買い物で実践しているグリーン購入では、詰め替え商品を選ぶことや必要性を考慮してから購入する、地元や旬のものを選ぶことの回答が多い結果となった。

### 3. 環境と社会に配慮した製品・サービスの情報の提供

#### (1) グリーン購入ガイドラインの策定・改定

GPN は、製品やサービスを購入する際に環境面及び社会面で考慮すべき重要な観点を品目ごとに示した GPN グリーン購入ガイドラインを 23 分野で策定し、概ね 5 年おきに内容を見直している。

##### ①照明購入ガイドライン

1998 年に策定した照明購入ガイドラインは、これまで 4 回改定を行ってきた。

「水銀に関する水俣条約」における水銀使用製品等の廃止期限を迎えること、日本は 2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを目標として掲げており、照明による電力使用量を極力抑える必要があること等から、これまでガイドラインで対象としていた蛍光灯照明器具及び蛍光灯を対象外とし、LED 照明器具、LED ランプのみを対象とした。

また、これまで RoHS 指令で対象とする 6 物質が極力含有されていないことをガイドライン項目として取り上げていたが、2019 年に RoHS 指令が改正され、対象が 10 物質へ拡大されており、改正された RoHS 指令に合わせて、対象となる物質を 10 物質に拡充する改定を行った。

## ②化学物質非含有に関するガイドライン項目の見直し

照明購入ガイドラインと同様、これまで RoHS 指令で対象とする 6 物質が極力含有されていないことをガイドライン項目として取り上げていたが、2019 年の RoHS 指令の改正に合わせて、対象となる物質を 10 物質に拡充した。

対象となる 9 分野の購入ガイドラインの改定を行った。なお、「家具購入ガイドライン」では、ガイドライン項目ではなく、情報提供項目として取り上げている。

＜改定した購入ガイドライン＞

- ・ GPN-GL2 「コピー機・プリンタ・ファクシミリ購入ガイドライン」
- ・ GPN-GL4 「パソコン・タブレット購入ガイドライン」
- ・ GPN-GL5 「冷蔵庫購入ガイドライン」
- ・ GPN-GL7 「洗濯機購入ガイドライン」
- ・ GPN-GL8 「照明購入ガイドライン」
- ・ GPN-GL10 「エアコン購入ガイドライン」
- ・ GPN-GL11 「家具購入ガイドライン」
- ・ GPN-GL12 「テレビ購入ガイドライン」
- ・ GPN-GL16 「トイレ設備」購入ガイドライン

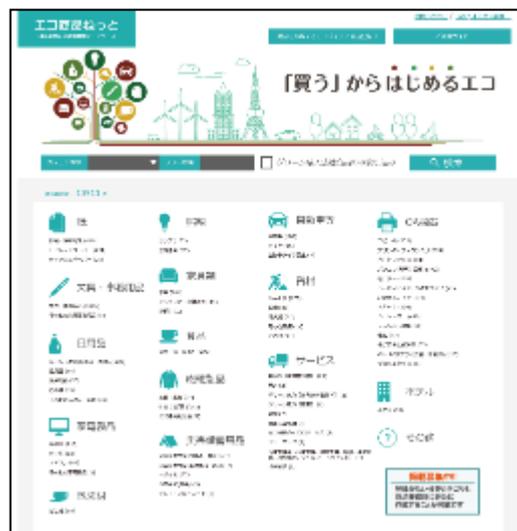
## (2) 環境配慮型製品・サービスの情報提供の充実

GPN が運営する「[エコ商品ねっと](#)」は、GPN グリーン購入ガイドラインやグリーン購入基本原則に沿って、製品やサービスの環境情報と事業者の環境面・社会面の取り組みに関する情報を掲載している日本最大級の環境情報データベースである。

掲載情報は年 4 回更新しており、2024 年 3 月末時点の総掲載件数は約 13,200 件であった。2023 年度の環境省の調査によると、都道府県・政令市の 88.1%、全国では 400 超の地方公共団体が物品調達の際に「エコ商品ねっと」等を参考にして

いる。2023 年度は、トイレットペーパー、ティッシュペーパー購入ガイドラインの改定ならびにペーパータオル購入ガイドラインの新規策定に合わせて製品情報を更新、新規掲載を行った。ペーパータオルでは、5 社 49 製品を掲載した (2023 年 9 月)。また、2023 年 12 月のグリーン購入法基本方針の改定に伴い、品目及びフォーマットの見直しを行った。

「エコ商品ねっと」の掲載数増加に向けて、カーボンフットプリント算定製品や業界団体が運営する認定制度との連携を検討した他、掲載事業者向けの情報として、国等の機関における環境物品等の調達方針および調達実績のウェブサイト一覧を作成し公表した。



### (3) サステナブル商品・サービス情報の提供

2015年にSDGsが採択され、環境問題への対応だけでなく、企業活動をESGの観点から評価しようとする動きが本格化する中、企業のものづくりにおいても、環境配慮だけでなく、労働者の人権や安全等、社会面への配慮も求められている。

そこで、2023年9月に、環境面だけでなく、社会面（原材料の合法性や持続可能性、原料産出地における生産者の人権や安全等）にも配慮した、サステナビリティを採る商品の特集ページとして「[サステナブル商品・サービス](#)」を開設し、2023年度は7製品を掲載した。



### (4) 環境配慮設計された食品容器包装の情報提供

プラスチック資源循環促進法の施行から2年を迎えようとする中、企業の環境配慮製品の開発や、業界団体によるプラスチック使用製品の設計指針の策定、地方自治体によるプラスチック使用製品廃棄物の分別収集の検討も進む一方、消費者が環境配慮設計の意義や効果を理解し、グリーン購入の実践につなげることが課題と言える。

環境に配慮された食品を購入する事業者や消費者への認知・理解を拡大させるために、農林水産省が実施する令和5年度農林水産分野における持続可能なプラスチック利用対策事業（食品産業プラスチック資源循環対策事業）を活用し、環境配慮製品に関するウェブサイトの構築、事業者及び消費者への普及啓発等を行った。

環境配慮製品に関するウェブサイトは、「エコ商品ねっと」の仕組みを活用して環境配慮設計された食品の容器包装に関する情報を収集し、[データベース「見つパック」](#)として2024年3月に開設した。ウェブサイトは、食品のカテゴリ、容器包装の環境配慮の項目、事業者等から検索・抽出できる機能を実装し、消費者のグリーン購入につながる内容とし、4社97商品の詳細情報を掲載している（2024年3月末）。



また、プラスチック資源循環に取り組む意義や現状、課題とともに、製造事業者における食品の容器包装の環境配慮の取り組みを紹介し、製造事業者へ容器包装の環境配慮を促すと同時に消費者へグリーン購入を促すためのセミナー（ウェビナー）を開催した（P3 GPNセミナー参照）。

## 4. 社会等への情報発信

### (1) グリーン購入ランキング

6月7日に全国の地方公共団体（1,788団体）を対象にしたグリーン購入取り組みランキング（2022年度調査）を公表した。このランキングは、環境省の「グリーン購入取組事例データベース」で公表されている地方公共団体の情報をもとにGPNが設定した基準により評価を行い、今回で8回目の公表となった。2050年の脱炭素社会の実現を目指すことを背景に、2021年度調査より電力の環境配慮調達方針の策定状況への得点を追加した。結果は4団体が満点（100点満点）の評価、また、全国の平均点は、昨年より0.7点のマイナスの17.1点となった。

[地方公共団体のグリーン購入取り組みランキング（2022年度調査）を公表（プレスリリース）](#)

■内閣府は、「地方創生 SDGs ローカル指標リスト」を改定し、ターゲット 12.7 のローカル指標として「グリーン購入取り組み度」を追加し、指標のデータソースとして、グリーン購入ネットワークが実施する「地方公共団体のグリーン購入取り組みランキング」が採用された。

>>[地方創生 SDGs ローカル指標リスト 2022 年 9 月版 \(第二版\)](#) (※P81 参照)

#### 【評価結果リスト (詳細)】

[1. 全ての地方公共団体 \(1,788 団体\) のリスト](#)

[2. 都道府県内上位 5 位団体のリスト](#)

[3. 域内市区町村を含む都道府県別のリスト](#)

[4. ゼロカーボンシティ表明・気候非常事態宣言都市 \(954 団体\) のリスト](#)

[5. SDGs 未来都市 \(183 団体\) のリスト](#)

※ゼロカーボンシティ表明・気候非常事態宣言都市は 2023 年 3 月 31 日時点の表明団体数。

## (2) 政策提言

GPN は、企業や地方公共団体等がグリーン購入に組みやすくなり、環境配慮型製品・サービスの提供が促進されるよう、これまでグリーン購入法や環境配慮契約法の強化等の提言を行ってきた。

2023 年度は、一般社団法人日本印刷産業連合会と連携し、グリーン購入法特定調達品目「印刷」の判断の基準の強化を提案した。

### ①「[グリーン購入法特定調達品目「印刷」の判断の基準の強化の提案](#)」(2023 年 6 月)

- ✓ 判断の基準を 2 段階 (基準値 1、基準値 2) とする。
  - ✓ 現行の判断の基準を基準値 2 とする。
  - ✓ 印刷事業者の環境配慮への取り組みを評価する観点から、現行の判断の基準に加え、以下の A) ~E) のいずれかに取り組む印刷事業者に発注することを基準値 1 とする。
    - A) 環境マネジメントシステムの認証を取得していること
    - B) 環境/CSR 報告書を作成・公表していること
    - C) カーボン・オフセット認証されているものであること
    - D) カーボンフットプリントコミュニケーションプログラムにより検証されている又は同等以上と認められるものであること
    - E) グリーンプリンティング認定制度による認定を取得していること
- ※A~E の基準は「プレミアム基準策定ガイドライン」の基準設定例と同じ内容である。

## (3) ホームページを通じた情報提供

GPN ウェブサイトの「GPN からのお知らせ」では、①GPN グリーン購入ガイドラインやグリーン購入法、「エコ商品ねっと」に関する製品・サービスの環境情報、②セミナー、地域 GPN イベント、持続可能な調達 (消費と生産) や GPN に関する情報、③GPN 会員の活動紹介等を掲載し、2023 年度よりも 40 件以上多い年間 178 件のお知らせを掲載した。「会員からのお知らせ」では GPN 会員のイベントや活動報告等の情報を年間 64 件掲載した。

GPN 会員向けメールマガジンは、GPN のイベント案内や活動報告、提案、会員のイベント案内や活動報告などの記事を掲載し、毎週 1 回、年間 44 回配信した。

#### 【GPN ウェブサイト】

GPN からのお知らせ：<https://www.gpn.jp/archives/gpnnews>

会員からのお知らせ：<https://www.gpn.jp/archives/membernews/>

### 【GPN メールマガジン配信一覧】

目次：<https://www.gpn.jp/gpn/admin/news/GPNmail.pdf>

記事：[https://www.gpn.jp/gpn\\_member/login](https://www.gpn.jp/gpn_member/login)

## (4) シンボルマークの活用を通じた会員団体の取り組みの発信

GPN には 4 種類のシンボルマークがあり、それぞれのアピール内容に沿って活用された。

### 【グリーン購入ネットワーク（GPN）会員シンボルマーク】

[https://www.gpn.jp/logos/symbol/#logos\\_symbol\\_index1](https://www.gpn.jp/logos/symbol/#logos_symbol_index1)



内容： GPN 会員であること、グリーン購入に取り組んでいること

用途： 会社案内、レポート・報告書、名刺、封筒、カタログ、ホームページ、チラシ・ポスター

実績： 16 件（2023 年度）

### 【GPN 印刷サービス・シンボルマーク】

[https://www.gpn.jp/logos/symbol/#logos\\_symbol\\_index2](https://www.gpn.jp/logos/symbol/#logos_symbol_index2)



内容： GPN「印刷サービス」発注ガイドラインに基づき印刷物の環境配慮に取り組んでいること

用途： 会社案内、CSR レポート、サステナビリティレポート、製品カタログ、チラシ、カレンダー、株主通信、市議会だより、楽譜、月刊誌、パンフレット

実績： 33 件（2023 年度）

### 【GPN 輸配送シンボルマーク】

[https://www.gpn.jp/logos/symbol/#logos\\_symbol\\_index3](https://www.gpn.jp/logos/symbol/#logos_symbol_index3)



内容： GPN「輸配送（貨物自動車）」契約ガイドラインに基づき輸配送の環境配慮に取り組んでいること

用途： 会社案内、ホームページ（事業内容）

実績： 1 件（2023 年度）

### 【グリーン購入大賞・ロゴマーク】

[https://www.gpn.jp/logos/symbol/#logos\\_symbol\\_index4](https://www.gpn.jp/logos/symbol/#logos_symbol_index4)



内容： グリーン購入大賞受賞団体であること

用途： 会社案内、ホームページ（ニュース、事業内容、サステナビリティサイト、SDGs サイト、製品サイト、EC サイト）、CSR レポート、サステナビリティレポート、製品カタログ、プレスリリース、社内報、店頭 POP、ポスター、チラシ

実績： 0 件（2023 年度）

## 5. その他の活動

### (1) 外部委員会への参画

#### ①外部委員会への参画

- ・ 産業競争力強化及び排出削減の実現に向けた需要創出に資するGX製品市場に関する研究会（経済産業省）
- ・ カーボン・オフセット指針及びガイドライン改訂に関する検討会（環境省）
- ・ ESD 活動支援企画運営委員会（環境省）
- ・ カーボンニュートラル行動計画第三者評価委員会（日本経済団体連合会）
- ・ 環境社会検定委員会（東京商工会議所）
- ・ 違法伐採対策モニタリング事業監査委員会（日本製紙連合会）
- ・ グリーンプリンティング工場認定委員会（日本印刷産業連合会）
- ・ グリーンエネルギー認証諮問委員会、技術検討会（日本品質保証機構）
- ・ ご当地電力証明書価値認証委員会（全国ご当地エネルギー協会）
- ・ エコマーク企画戦略委員会（日本環境協会）
- ・ 日本 LCA 学会企画委員会、広報委員会（日本 LCA 学会）
- ・ 表彰選考ワーキンググループ（LCA 日本フォーラム）
- ・ JOIFA 合法木材事業者認定制度 事業者認定委員会（日本オフィス家具協会）
- ・ 世田谷 2R 推進会議（世田谷区）
- ・ エコ・アクション・ポイント有識者審査会（エコ・アクション・ポイント事務局）
- ・ SDGs アカデミア資格認定委員会（青山学院ヒューマン・イノベーション・コンサルティング株式会社）
- ・ 持続可能な繊維産業のエコシステム構築に向けた産学連携ワーキンググループ（日揮ホールディングス株式会社、帝人株式会社、国立大学法人東京大学） 他 1 件

#### ②外部の講演・講師派遣

##### 【職員研修】

- ・ 自治体職員研修（川西市、箕輪町）
- ・ 企業職員研修（株式会社ゼロボード）

##### 【講演】

- ・ 大学講義（関東学院大学、フェリス女学院大学）
- ・ 東京都 VOC 対策セミナー（東京都環境局）
- ・ SR セミナー「12月7日を『持続可能な社会責任公共調達の日』に！」（社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク）
- ・ 静岡県大手発注企業外注担当者研究会（公益財団法人静岡県産業振興財団）
- ・ 川西市環境率先行動計画職員研修（川西市）
- ・ エコアクション 21 審査員向け研修会（環境ネットやまがた）
- ・ 第 95 回 CSR&コンプライアンス研究フォーラム（CSR&コンプライアンス研究フォーラム）
- ・ ブランドみらい☆ミニセミナーシリーズ 2023 第 2 弾「SDGs×グリーン購入基準」（SGEC/PEFC ジャパン（一般社団法人緑の循環認証会議））

#### ③アドバイザー業務

- ・ ゼロエミッション・ビークル普及啓発事業アドバイザー（東京都環境公社）

#### ④外部団体への参画

- ・ 循環経済パートナーシップ (J4CE)
- ・ あふの環 2030 プロジェクト (農林水産省)
- ・ 持続可能なパーム油ネットワーク (JaSPON)
- ・ パワーシフトキャンペーン

## (2) 理事会・委員会等の開催

2023年度は、理事会・委員会等を以下のとおり開催した。

### ○ 理事会

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 第134回：6月15日(木)  | 第136回：1月26日(金) |
| 第135回：10月24日(火) | 第137回：3月8日(金)  |

### ○ 代表理事会

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 第230回：6月2日(金)  | 第232回：2月27日(火) |
| 第231回：10月2日(月) |                |

### ○ サステナブル商品・サービス情報委員会

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 第20回：5月16日(火) | 第23回：11月14日(火) |
| 第21回：7月11日(火) | 第24回：1月16日(火)  |
| 第22回：9月12日(火) | 第25回：2月13日(火)  |

### ○ 普及広報委員会

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 第30回：4月27日(木) | 第36回：10月18日(水) |
| 第31回：5月24日(水) | 第37回：11月28日(火) |
| 第32回：6月22日(木) | 第38回：12月19日(火) |
| 第33回：7月31日(月) | 第39回：1月22日(月)  |
| 第34回：8月31日(木) | 第40回：2月26日(月)  |
| 第35回：9月25日(月) | 第41回：3月18日(月)  |

### ○ SDGs 関連検討委員会

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 第13回：10月12日(木) | 第16回：3月4日(月)  |
| 第14回：12月26日(火) | 第17回：3月25日(月) |
| 第15回：1月18日(木)  |               |

### ○ 再エネ100検討委員会

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 第9回：6月2日(金)   | 第12回：10月19日(木) |
| 第10回：7月26日(水) | 第13回：12月20日(水) |
| 第11回：8月31日(木) | 第14回：2月20日(火)  |

### ○ 地域ネットワーク担当者会議

- 第7回：8月22日(火)

### ○ 地域ネットワーク代表者会議

- 第17回：2月6日(火)